

E-IDE HARD DISK DRIVE

LHD-EAK Series

LHD-HAK Series

内蔵型ハードディスク

ユーザーズマニュアル

付属品の確認

ハードディスクドライブ	1 台
取り付け用ネジ	4 個
「LogitecWare」CD-ROM	1 枚
「B's ラク～だ！バックアップ」CD-ROM	1 枚
ハードディスク・ユーザーズマニュアル	本書
保証書	1 枚

本製品は精密電子機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用
ください。

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電氣的に強磁気破壊方式（ ）により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ（<http://www.logitec.co.jp>）をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。
（技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願いします。）

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 ロジテックサポートソリューション

データ消去サービス係 5番受入窓口

TEL : 0265-74-1423 / FAX : 0265-74-1403

参考

付属の「LogitecWare」CD-ROM内に収録されている、「ディスクデータイレサ」（Windows環境のみ）を使用することで、ハードディスク上のデータを全て消去する事ができます。消去後に再フォーマットすることにより再利用が可能です。消去されたデータは、パソコンでは読み取り不能となります。ただし、ソフトウェアによる消去の場合、専門機関等の特殊な環境でもデータが復元されないことを、保証するものではありません。

目次

取扱い上のご注意	2
ごあいさつ	4
ご注意	4
第 1 章 製品のご紹介	5
1 . 1 製品の概要	5
1 . 2 接続可能なパソコン	7
第 2 章 接続について	9
2 . 1 接続の前に	9
2 . 2 接続の手順	10
第 3 章 フォーマットについて	13
3 . 1 Windows Me , 98/95 の場合	13
3 . 2 Windows XP , 2000 の場合	15
3 . 3 Windows NT 4.0 の場合	16
3 . 4 Mac OS の場合	17
第 4 章 補足事項	20
4 . 1 トラブルシューティング	20

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示（マークなど）を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



警告

この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



注意

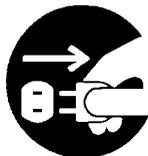
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かに注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは電源コードをコンセントから抜かなければならないことを意味します。



警告

接続時には電源コードを抜いてください。

本製品をパソコン本体に接続するときには、パソコン本体の電源をOFFにして、電源コードをコンセントから抜いてください。



注意

接続時、感電 / 火傷等に注意してください。

- ・パソコン本体内部には感電の危険性がある部分があります。感電には十分注意してください。
- ・電源OFF直後のパソコン本体内部には、高温の部分（CPUなど）があります。火傷しないように注意してください。
- ・パソコン本体内部の金属部分や基板の裏側に、不注意に触れるとケガをすることがありますので注意してください。



感電注意



高温注意



ケガに注意

分解 / 改造しないでください。

本製品は絶対に分解しないでください。故障、感電、火災の原因となります。分解の必要が生じた場合は、販売店にご相談ください。



分解禁止

内部に異物を入れないでください。

本製品内部に水などの液体や金属片を入れると、故障、感電、火災の原因となります。



その他の
禁止事項

静電気対策をしてください。

本製品およびパソコン本体内部には、静電気に弱い部品が使用されています。接続の前にパソコン本体の金属が露出している部分に触れて、体内の静電気を放電してください。また、内部の不要な部分にはなるべく触れないでください。



その他の
強制事項

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一項目に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品を使用して保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他のような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようにお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様がお客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* Windows®は米国Microsoft社の米国およびその他の国での登録商標です。
Macintosh®、Mac® OSはアップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコン本体の名称は、併記されている各社の商標または登録商標です。

第 1 章 製品のご紹介

1 . 1 製品の概要

本製品は ATA (E-IDE) 接続のパソコン本体内置型ハードディスクドライブです。

DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ、Macintosh シリーズなどで使用することができます。

Ultra ATA/100のデータ転送モードに対応して最大同期データ転送速度 100MB/s (理論値) を実現しています。

ドライブのディスク回転数によって、通常タイプの機種と高速タイプの機種があります。

通常タイプ (5,400 rpm)	高速タイプ (7,200 rpm)
LHD- EAK シリーズ (LHD- Exx AK)	LHD- HAK シリーズ (LHD- Hxx AK)



ご注意

- ・ DOS/V パソコンでは、エンハンスド IDE ハードディスクの容量に 2.1GB、8.4GB、32GB、64GB、137GB 等の容量制限が存在します。

容量制限以上ハードディスクを接続するためには、パソコンの BIOS をアップグレードする必要があります。お使いのパソコンがどの容量まで使用できるか、BIOS のアップグレードは可能かをパソコンメーカーに問い合わせください。



ご注意

- ・BIOSのアップグレードでも解決できない時のために、弊社では問題を解決するためのインターフェースボードをご用意しております。

型番	バス	備考
LHA - BIG133	PCI	インターフェースボード単体

LHA-BIG133では理論上1台あたり144PB(約144,115,188,075,855,872Byte)までのハードディスクを合計4台まで接続することができます。(使用するOSによって容量の制限がある場合があります。)

- ・Ultra ATA/66以上の高速データ転送を行う場合は、パソコン本体の対応と専用ケーブル(弊社型番:CB-F40/66)が必要です。ただし、これらのデータ転送モードは従来のインターフェースと下位互換性があり、パソコンがこれをサポートしていない場合や、専用ケーブルが使用されていない場合は、下位のモード(下表参照)で動作します。

IDE/ATAの主な転送モード	
Ultra ATA/133	133MB/s
Ultra ATA/100	100MB/s
Ultra ATA/66	66MB/s
Ultra ATA/33	33.3 MB/s
DMA Multiword 2	16.6MB/s
PIO Mode 4	16.6MB/s

1.2 接続可能なパソコン

本製品は以下のパソコン（DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ、Macintosh シリーズ）に接続して使用することができます。ただし、機種によってはハードディスクの容量に関して独自の制限を持っている場合がありますので、ご使用のパソコンが本製品の容量に対応しているかどうか分からない場合は、パソコン本体のメーカーにお問い合わせください。

問い合わせ例：「ご使用のパソコン機種名」はxxGB(ギガバイト)のエンハンスドIDE(アイデーイー)ハードディスクに対応していますか？

DOS/V パソコン、PC98-NX シリーズ

E-IDE コネクタと3.5インチベイ、または5インチベイを持つパソコン本体で使用することができます。



ご注意

本製品は日本アイ・ピー・エム株式会社のPC 350 ファミリとPC 750 ファミリに接続することができません。

Macintosh シリーズ

Macintoshシリーズの場合は、以下の機種に内蔵することができません。

Power Macintosh G3 (Blue and White)シリーズ

Power Mac G4 シリーズ

1



ご注意

- ・上記Macintoshシリーズのうち以下の機種はノイズなどの問題から、本製品をご使用になれません。

Power Mac G4 (PCI Graphics) 350MHz (M7826J/A)

Power Mac G4 (PCI Graphics) 400MHz (M7631J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 300MHz (M6670J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 350MHz (M6668J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 350MHz (M6666J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 400MHz (M6665J/A)

- ・Power Macintosh G3 (Blue and White)シリーズのうち、以下の機種に接続する場合は別途フラットケーブルが必要です。弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

Power Macintosh G3 (Blue and White) 450MHz (M7553J/A)

第2章 接続について

2.1 接続の前に

動作モードの設定

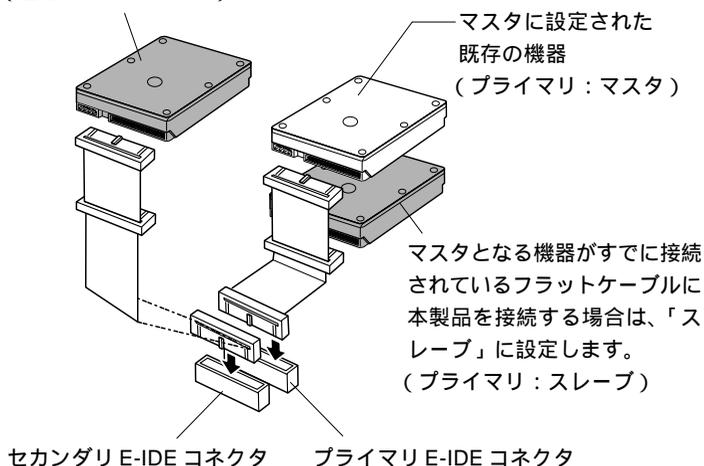
本製品を接続する前に、本製品の動作モード（マスタ/スレーブ/ケーブルセレクト）を設定してください。

本製品のようなATA(E-IDE)対応機器は、1つのATA(E-IDE)コネクタに2台まで接続できますが、その場合、通常、片方をマスタに設定し、もう片方をスレーブに設定しなければなりません。ATA(E-IDE)コネクタが2つ（プライマリ/セカンダリ）ある場合はマスタ/スレーブの組み合わせを2組、合計4台までの機器を接続できます。（下図参照）

ケーブルセレクト対応したパソコン本体と、専用ケーブルを使用している場合、ケーブルセレクト方式でマスタ/スレーブを設定することも可能です。

動作モードの設定はジャンプスイッチなどで行いますが、設定方法が機種によって異なりますので、別紙の「ハードウェア仕様一覧表」をご参照ください。

フラットケーブルに本製品のみを接続する場合は、「マスタ」に設定します。（セカンダリ：マスタ）





ご注意

- ・ 1本のフラットケーブルに2台のATA (E-IDE) 機器を接続する場合、一般的に高速な機器を「マスタ」に、低速な機器を「スレーブ」に設定すると動作が安定します。
 - ・ Ultra ATA/66以上の高速データ転送対応のフラットケーブルは、マスタ接続用のコネクタ、スレーブ接続用のコネクタが固定されています。
本製品を「マスタ」に設定した場合は、フラットケーブルの「Master」と書かれたコネクタ（色分けしてある場合は黒色のコネクタ）に接続してください。
本製品を「スレーブ」に設定した場合は、フラットケーブルの「Slave」と書かれたコネクタ（色分けしてある場合は灰色のコネクタ）に接続してください。
-

2 . 2 接続の手順

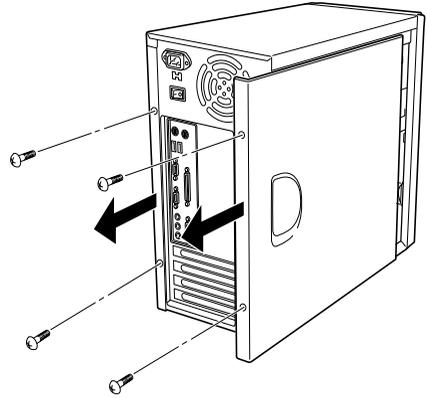
ここではDOS/Vパソコンの一例を挙げて、本製品の接続手順を説明します。ただし、接続手順はパソコン本体によって異なりますので、詳細についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。また、パソコン本体によって取り付けに特殊な金具が必要な機種もありますので、あらかじめ、パソコン本体の取扱説明書で確認してご用意ください。



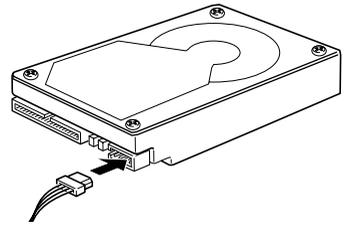
重要なご注意

接続の前に必ず本製品、パソコン本体、およびそこに接続されたすべての周辺機器の電源をOFFにして、パソコン本体の電源コードをコンセントから外してください。接続時に内部ショートが発生すると電源がONになる場合があります。感電や火災を防止するため、必ず電源コードをコンセントから外してください。

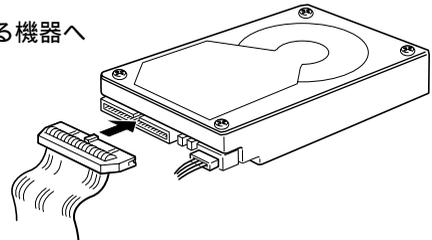
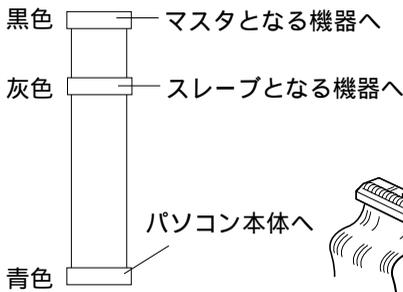
パソコン本体のカバーを取り外します。(右のイラストは一例です。取り外し方法についてはパソコン本体の取扱説明書をご参照ください。)



パソコン本体の内部電源ケーブルのうち、余っているものを本製品の電源コネクタに接続します。このコネクタは正しい方向でしか接続できない形状になっています。

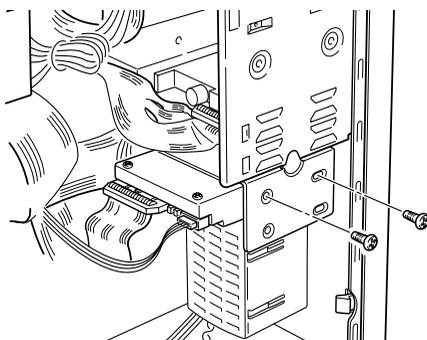


パソコン本体内部のATA (E-IDE) コネクタと、本製品のインターフェースコネクタを、フラットケーブルで接続します。フラットケーブルはパソコン本体にあらかじめ取り付けられたものか、別売ケーブル「CB-F40/66」をご使用ください。



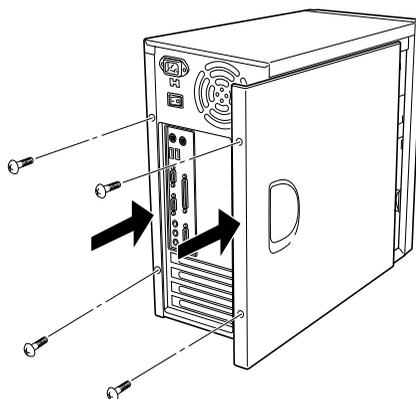
Ultra ATA/66 以上の高速データ転送
対応のフラットケーブルの使い方

本製品をベイに挿入して、付属のネジで固定します。ネジ止めの方法はパソコン本体によって異なりますが、多くの場合、横から止めます。(右のイラストでは省略されていますが、反対側もネジ止めしてください。)



2

ケーブルなどを挟み込まないように注意して、パソコン本体のフロントパネルとカバーを取り付け、ネジで固定します。



以上で接続は終了です。

Point ポイント

付属のCD-ROM「Logitec Ware」でも取り付け方法を説明しております。

第3章

フォーマットについて

本製品の接続が終了したら、パソコン本体の電源をONにして、システムを起動し、本製品のフォーマットを行います。ここでは代表的なOSの例をあげて、フォーマットの手順を概略的に説明します。

ここに記載されていないOSをご使用の場合は、OSの取扱説明書のハードディスクのフォーマットに関する部分を参照してください。

3 . 1 Windows® Me , 98/95 の場合

Windows Me、98/95 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「Logitec ディスクフォーマッタ」で行います。

本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」をインストールしてください。

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」「Logitech」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitech ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。（デフォルトの状態インストールした場合）



ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。

3



ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。



ポイント

Windows 95 は、100GB 以上のモデルには対応していません。

3 . 2 Windows® XP , 2000 の場合

Windows XP ,2000の場合、フォーマットはWindows 標準のユーティリティ「ディスクの管理」から行います。「ディスクの管理」でフォーマットを行う概略の手順は以下の通りです。

Point ポイント

本製品付属の「LogiteWare」CD-ROMに保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。

* 下記のファイルをダブルクリックすると、お使いになっているブラウザ(インターネット閲覧ソフト)で内容を表示することができます。

ファイル名 : ¥Docs¥Hdfmt2k.html (Windows 2000)

ファイル名 : ¥Docs¥Hdfmtxp.htm (Windows XP)

管理者権限を持つユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等)としてログオンします。

デスクトップ上の「マイコンピュータ」を右クリックして、表示されるメニューから「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」のウィンドウが表されたら、コンソールツリー上で「記憶域」の下の「ディスクの管理」をクリックします。

Point ポイント

ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

「ディスクの管理」が表示されたら、「不明」と書かれているディスクを右クリックして、表示されるメニューから、

「署名」を実行してください。(Windows 2000 の場合)

「ディスクの初期化」を実行してください。(Windows XP の場合)

Windows 2000 では、署名したディスクの「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、「パーティションの作成」を選択してください。

Windows XP では、初期化したディスクの「未割り当て」と書かれた部分を右クリックして、「新しいパーティション」を選択してください。

「パーティションの作成ウィザード」(Windows 2000 の場合)または、「新しいパーティションウィザード」(Windows XP の場合)が起動したら、表示されるメッセージにしたがって作業を行ってください。

3

Point

ポイント

「パーティションの作成ウィザード」の中で、作成するパーティションを「プライマリパーティション」にするか、「拡張パーティション」にするかを選択するステップがあります。

本製品では必ず「拡張パーティション」を選択し、拡張パーティションの中に論理ドライブを作成してください。

3 . 3 Windows® NT 4.0 の場合

Windows NT 4.0 の場合、本製品のフォーマットには Windows NT 4.0 標準のユーティリティ「ディスクアドミニストレータ」を使用します。

Administrators グループでログオンして、ディスクアドミニストレータを起動し、本製品のフォーマットを行ってください。

3 . 4 Mac® OS の場合

本製品のフォーマットはMac OS標準のユーティリティ「ドライブ設定」あるいはMac OS X標準のユーティリティ「Disk Utility」(Mac OS X 10.2.2以降の場合は「ディスクユーティリティ」)で行います。次ページの手順はMac OS標準のユーティリティ「ドライブ設定」について説明します。「Disk Utility」または「ディスクユーティリティ」を使用したフォーマット手順についてはMac OS Xのヘルプをご参照ください。



ご注意

Mac OS は以下のバージョンのものをご使用ください。

Mac OS 8.6 ~ Mac OS 9.2.2 まで

Mac OS X は以下のバージョンのものをご使用ください。

Mac OS X 10.0.4 以降

Mac OS X 10.0.4 から 10.1.3 の環境で「Disk Utility」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」「Utilities」「Disk Utility」を選択してください。

Mac OS X 10.2以降の環境で「ディスクユーティリティ」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

Mac OS X でフォーマット（初期化）する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧 Mac と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 までの環境でもなるべく Mac OS 拡張を選択してください。

ドライバ設定でのフォーマット手順 (Mac OS 9.2.2 まで)

Macintosh 本体の電源を ON にして、システムを起動します。

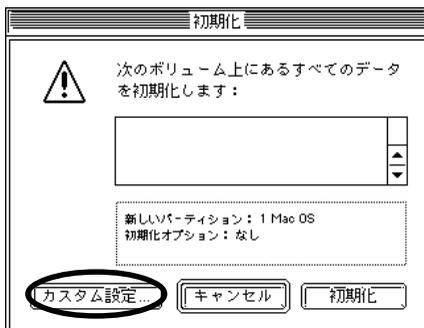
「ドライブ設定」を起動します。
ドライブ設定は、ユーティリティフォルダの中に保存されています。



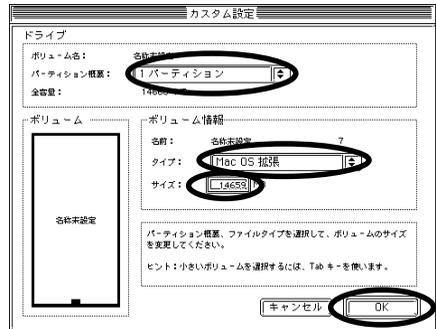
「ドライブ設定」のウィンドウが表示されたら、<未初期化>のドライブを選択して「初期化...」ボタンをクリックします。



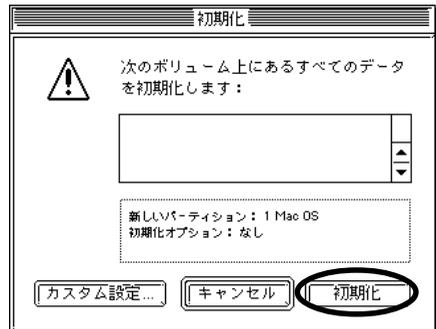
「初期化」ウィンドウが表示されたら、「カスタム設定...」ボタンをクリックします。



カスタム設定ウィンドウ（右図）で、パーティション数、ボリュームタイプ、ボリュームサイズを設定し、「OK」ボタンをクリックします。（ボリュームタイプは「Mac OS 拡張」を推奨します。）

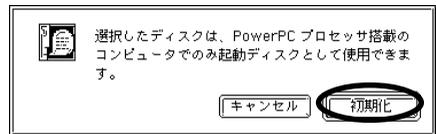


初期化ウィンドウに戻りますので、「初期化」ボタンをクリックします。



3

拡張フォーマット（HFS+）について警告が表示されます。一読の上初期化ボタンをクリックしてください。



ドライブの初期化が実行されます。初期化が完了するとデスクトップ上に名称未設定のドライブアイコンがマウントされます。

第4章 補足事項

4.1 トラブルシューティング

本製品が認識されない。

- ・接続の状態を確認してください。コネクタに接触不良はありませんか？ また、ケーブルを間違った方向で接続していませんか？ 電源ケーブルの接続を忘れていませんか？
- ・マスタ/スレーブの設定は正しく設定されていますか？
- ・パソコン本体はエンハンスド IDE をサポートしていますか？
- ・Windows 環境の場合、Windows からハードディスクコントローラが正常に認識されていますか？ 例えば Windows 98/95 をご使用の場合は、「コントロールパネル」 「システム」を起動し、「デバイスマネージャ」タブでハードディスクコントローラに「！」マークや「x」マークがついていないかどうか確認してください。

本製品の容量が少なく認識される。

- ・パソコン本体はエンハンスド IDE をサポートしていますか？
- ・一部のパソコン本体では、エンハンスド IDE をサポートしていても独自の容量制限を持つ場合があります。パソコン本体のメーカーに問い合わせてみてください。
- ・CHS 方式（シリンダ、ヘッド、セクタの3つのパラメータでハードディスクを管理する方式）を採用した旧タイプのパソコンに本製品を接続すると、容量が8.4GB しか認識されません。（このときのパラメータはシリンダ = 16383、ヘッド = 16、セクタ = 63 となり、これが CHS 方式の限界です。）本製品の全ディスク容量を認識させるためには、LBA 方式（論理ブロックアドレス方式）を採用したパソコンでご使用ください。（現在、ほとんどのパソコンはこの方式を採用しています。）
- ・137GB を超えるハードディスクを従来の LBA 方式を採用したパソコンに接続しても、137GB までしか使用することができません。これは LBA 方式の制限です。ハードディスク通りの容量を使用するためには、Big Drive 対応のパソコンや、Big Drive 対応の DOS/V パソコン用 PCI ボード「LHA-BIG133」に接続してご使用ください。

「マイコンピュータ」に

ハードディスクのアイコンが表示されない。

- ・Windows環境では、フォーマット(もしくは「ディスクの管理」等によるパーティション設定)が終了しないと、「マイコンピュータ」にハードディスクのアイコンが表示されません。

Windows XP、2000、NT 4.0でフォーマットに

使用するユーティリティが起動できない。

- ・Windows XP、2000、NT 4.0では、管理者権限を持つユーザーグループのメンバーとしてログインしないと、ハードディスクのフォーマットはできません。

Macintosh シリーズで本製品の動作が不安定になる。

- ・Macintosh シリーズのうち、以下の機種はノイズなどの問題からハードディスクの増設ができません。

Power Mac G4 (PCI Graphics) 350MHz (M7826J/A)

Power Mac G4 (PCI Graphics) 400MHz (M7631J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 300MHz (M6670J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 350MHz (M6668J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 350MHz (M6666J/A)

Power Macintosh G3 (Blue and White) 400MHz (M6665J/A)

その他：ホームページについて

- ・弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページには最新情報が掲載されている場合もありますのでご利用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

